

防災ガイド

災害はいつ来るの？

なかなか来ないかもしれない、でも、あした来てもおかしくない。それほど自然災害の多い国に私たちは暮らしています。その被害が未然に、最小限に済むよう、日頃から備えておきましょう。



家族会議で決めておこう

対策や備えが済めば
チェックマーク✓をつけよう



家の内外について	
ガスボンベの固定	
火気の側に燃えやすい物	
ブロック塀や門柱	

非常持ち出し品について	
保険証・証券類	
現金やカードなど	
非常食	
飲料水	
万能ナイフ	
ラジオ	
懐中電灯	
衣服	
家や車のスペアキー	
ヘルメットやずきん	
救急医薬品	
毛布	
軍手	
カッパ	
つえ・ロープ	

家族会議では
こんな事を
確認しておこうね



家族で心得を学習	
避難経路での危険箇所	
家の中で一番安全な場所	
近所の一人住まいのお年寄り	
誰が何を持ち出すか	
家族が最終的に出会う場所	
持ち出し袋はどこに	

家の内外チェック

屋根

- 不安定なアンテナは補強する。
- トタンがめくれしていないか。
- 瓦のひび・割れはかたがれば直しておく。

ベランダ

- 結木鉢や物干しざおなど、落下や飛散の危険のあるものはかたづける。

窓

- 窓枠のがたつきはないか。
- 雨戸にがたつきはないか。
- 窓枠の補強をする。

外壁

- モルタルの壁に亀裂はないか。

ブロック

- 傾きやひび割れ、破損している箇所はないか。
- 規格どおりに作られているか。
- できれば安全な生け垣などにする。

その他

- プロパンガスのボンベはしっかりと固定する。
- 商店などでは看板のぐらつきにも注意する。
- ごみ箱や植木鉢などは室内に入れるか、飛ばないように固定する。
- 庭木にはそえ木をしておく。



非常持ち出し品の備えを!



荷物の量は、男性は15kg、女性は10kgが目安です

両手のあくリュックサックがよい!



貴重品
年に一度、保存期限をチェックしよう

小銭も用意しよう

消毒と傷の手当などができるよう

正確な情報の収集が大切

年に一度は電池のチェックを忘れずに

頭部を守り、体温を保てるように

その他

水や非常食は3日分が目安です

非常食

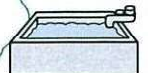
万能ナイフ

懐中電灯

カッパ

つえ・ロープ

消火用水として!



排水溝

- 排水のゴミや土砂をとり除き、雨水の排水をよくしておく。
- 雨水まつの溝フタを掃除しておく。



非常備蓄品について

災害復旧までの数日間を自活するためのものです。できれば7日間は自活できるだけの量を用意しておきましょう。

非常食

そのまま食べられるか、簡単な調理で食べられるものを。アルファ化米やトルトのごはん、缶詰やトルトのおかず、インスタントラーメン、チョコレートなど。しょうゆや味噌などの調味料も準備しておくとう便利。

生活用品

カセットコンロと予備のガスボンベ、毛布、衣類、洗面用具、マスク、トイレ用ペーパー、ビニール袋、使い捨てカイロ、キッチン用ラップ、生理用品など。

水

飲料水と生活用水を用意する。飲料水は、ひとり1日3リットルが目安。生活用水はプラスチックのタンクなどに入れて保存しておく。また風呂の水を次に入るときまで残しておく習慣をつける。いざというときに生活用水として利用できる。

工具類

家屋が倒壊した場合に備えて、救出活動に使えるスコップやバール、のこぎり、車のジャッキなどを用意しておく。

家族構成に合わせた準備を

非常持ち出し品・非常備蓄品は、マニュアルどおりのものをそろえるだけでは足りません。家族の人数分をそろえることはもちろん、家族構成に合わせて必要なものを考えてみましょう。子どもがいる家庭では、子どもの年齢によって必要なものが変わっていくので、定期的に見直すことも大切です。

乳幼児がいる家庭	粉ミルク、ほ乳びん、おむつ、離乳食、スプーン、洗浄綿、抱っこひもなど
妊婦がいる家庭	脱脂綿、ガーゼ、さらし、T字帯、洗浄綿、新生児用品、母子手帳など
要介護者がいる家庭	おむつ、ティッシュ、補助具等の予備、常備薬、障がい者手帳など

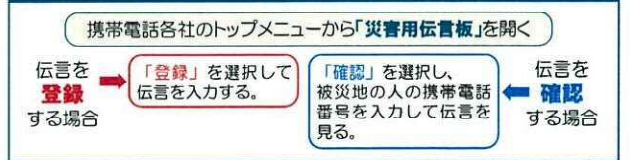
いざというときの連絡先 火事・救急 119番/警察 110番

連絡先	電話番号	連絡先	電話番号
河内長野市役所	53-1111	河内長野警察署	54-1234
河内長野市消防本部	53-0119	大阪ガス(株)	0120-319424
河内長野市消防署	53-5681	河内長野ガス(株)	53-3561
消防署北出張所	55-1245	関西電力(株) 堺野営業所	08007778026
消防署南出張所	62-0155		

河内長野市役所 危機管理課

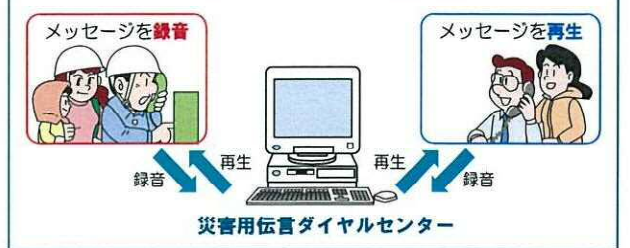
〒586-8501 大阪府河内長野市原町一丁目1番1号 TEL 0721-53-1111 E-mail bousaitaisaku@city.kawachinagano.lg.jp

携帯電話 災害用伝言板の使い方



NTT災害用伝言ダイヤル ☎ 171

「171」をダイヤルし、利用ガイダンスにしたがって伝言の録音・再生を行ってください。災害発生時には、NTTの災害用伝言ダイヤルサービスが稼働します。事前契約などはいりません。家族や友人などが被災した場合の安否の確認や連絡などに活用できます。



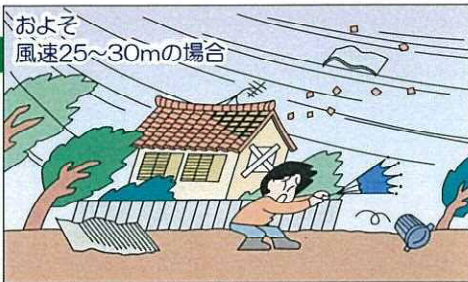
防災ガイド

風の強さや雨の強さの影響

気象予報で発表される風速や雨量をもとに、下記の表を参考にして、おおよその影響や被害の対策を想定できます。

風の強さと吹き方





おおよそ風速10~15mの場合



おおよそ風速25~30mの場合

風速	人への影響	建物への被害
10~15m	風に向かって歩きにくい 傘がさせない	看板やトタン板が飛び始める
15~20m	風に向かって歩けない 転倒する人もてる	ビニールハウスが壊れ始める
20~25m	しっかりと体を確保しないと転倒する	鋼製シャッターが壊れる 飛ばされた物で窓ガラスが割れる
25~30m	立ってられない	ブロック塀が壊れ、屋外外装材がはがれて飛び始める
30m~	屋外での行動は危険	屋根が飛び、木造住宅の全壊が始まる

雨の強さと降り方

予報用語	1時間雨量	人の受けるイメージ	屋外の様子	災害発生状況
猛烈な雨	80mm以上	息苦しくなるような圧迫感がある 恐怖を感じる	水しぶきであたり一面が白っぽくなり視界が悪くなる	雨による大規模な災害の発生するおそれ強く 厳重な警戒が必要 
激しい雨 非常に	50~80mm未滿	滝のように降る (ゴーゴーと降り続く)		都市部では地下室や地下街に雨水が流れ込む場合がある マンホールから水が噴出する 土石流が起こりやすい 多くの災害が発生する
激しい雨	30~50mm未滿	バケツをひっくり返したように降る	道路が川のようになる	山くずれ・崖くずれが起きやすくなり 危険地帯では避難の準備が必要 都市では下水管から雨水があふれる 
強い雨	20~30mm未滿	どしゃ降り	地面一面に水たまりができる	側溝や下水、小さな川があふれ、小規模の崖くずれが始まる 
やや強い雨	10~20mm未滿	ザーザーと降る		この程度の雨でも長く続く時は注意が必要 

風水害・地震のときは情報収集が命綱!



私たちの町は、時として洪水や土砂災害に見舞われることがあります。この避難マップで、危険な斜面や土石流が流れ出る可能性のあるところを知っておきましょう。土石災害は大雨が引き金になって起こります。気象情報を迅速に入手して、早めの行動をとりましょう。

こんなときは赤信号! 早めの避難を!!

崖くずれ	地すべり	土石流
 <ul style="list-style-type: none"> 山の斜面の途中から水が噴き出したとき。 斜面からバラバラと小石などが落ちてきたとき。 石垣や擁壁が盛り上がったたり、亀裂が入ったとき。 	 <ul style="list-style-type: none"> 地面に割れ目ができるとき。 池や井戸の水が急に減ったり、濁ったりしたとき。 	 <ul style="list-style-type: none"> 立木の裂ける音や大きな石の流れる音が聞こえるとき。 溪流の流れが急に濁ったり、流木が混ざったりしたとき。 雨が続けているのに、溪流の水位が急激に減少しはじめたとき。

洪水時の避難の注意点!

水位の確認	履き物に注意	子ども、お年寄りから目を離さない
 <p>歩ける深さは股下までです。無理をせず、高所で救助を待つのが安全です。</p>	 <p>素足、長くつは禁物です。ひもで締められる運動靴をはき、棒を杖がわりにして安全確認しましょう。</p>	 <p>はぐれないよう、お互いの身体をロープで結んで避難しましょう。</p>

防災ガイド

災害時は、避難勧告などの情報にご注意を！

大雨などによる水害や土砂災害の発生が予測された場合、防災行政無線や災害テレホン案内、ホームページ、携帯電話のメールなどを通じて、避難に関する情報を発令します。災害時これらの情報を見聞きした場合は、それぞれの状況に応じて適切な行動をとってください。

河内長野市ホームページ <http://www.city.kawachinagano.lg.jp>
 河内長野市Facebook <https://www.facebook.com/city.kawachinagano>
 災害テレホン案内 ☎26-7640（通話料が必要です）
 防災行政無線の放送内容が聞き取れなかったときは、放送内容をこちらからご確認ください。

おおさか防災ネット「河内長野市ポータルサイト」
 府内に発表される気象に関する注意報や警報、地震、台風、洪水、土砂災害、避難勧告、防災ガイドマップ、防災情報メール登録の案内など幅広い防災情報をホームページや携帯画面で提供しています。
 ホームページ <http://www.osaka-bousai.net/kawachinagano/index.html>
 携帯電話 <http://www.cds.osaka-bousai.net/mobile/kawachinagano/>

川や土砂災害情報
 災害発見時の連絡先
 富田林土木事務所 ☎25-1131
 河内長野市役所 ☎53-1111

大阪管区気象台が発表する大雨に関する予報と発表基準
 気象庁が発表する用語について、その基準とみなさんが感じるようすや、一般的災害状況をまとめたものです。長い時間降り続いた場合には、わずかな雨でも土砂災害は発生します。また、山間部では局地的な大雨による被害が発生することもあります。

大雨注意報	大雨警報	大雨特別警報
大雨によって災害が起こるおそれがあると予想される場合で、具体的には次のいずれかの条件に該当する場合である。 ① 1時間雨量が20mm以上かつ総雨量が50mm以上になると予想される場合 ② 3時間雨量が40mm以上になると予想される場合 ③ 土壌雨量指数 [*] が79以上になると予想される場合	大雨によって重大な災害が起こるおそれがあると予想される場合で、具体的には次のいずれかの条件に該当する場合である。 ① 1時間雨量が平坦地 [*] で50mm以上または、平坦地以外 [†] で70mm以上になると予想される場合 ② 3時間雨量が平坦地 [*] で90mm以上または、平坦地以外 [†] で130mm以上になると予想される場合 ③ 土壌雨量指数 [*] が114以上になると予想される場合	台風や集中豪雨により数十年に一度の降雨量となる大雨が予想され、もしくは、数十年に一度の強度の台風や同程度の温帯低気圧により大雨になると予想される場合

*1: 土壌雨量指数… 雨による土砂災害発生の危険性を示す指標で、土中に貯まっている雨水の量を示す指数。1km四方の領域ごとに算出
 *2: 平坦地… 土地の傾斜がおおむね30パーミル（100mで3mの高差）以下で都市化の割合が25%以上の地域
 *3: 平坦地以外… 平坦地以外の地域（土地の傾斜がおおむね30パーミル（100mで3mの高差）以上で都市化の割合が25%以下の地域）

避難情報について

避難情報は、危険度の大きさによって3種類あります。発令された際は、下の表を参考に、避難行動を取ってください。



避難情報の区分	発令・発表される状況	みなさんが取るべき避難行動
① 避難準備・高齢者等避難開始	● 避難勧告や避難指示（緊急）を発令することが予想される場合	● 避難に時間を要する人（ご高齢の方、障がいのある方、乳幼児等）とその支援者は避難を開始しましょう。 ● その他の人は避難の準備を整えましょう。
② 避難勧告	● 災害による被害が予想され、人的被害が発生する可能性が高まった場合	● 速やかに避難所へ避難をしましょう。 ● 外出することでかえって命に危険が及ぶような状況では、近くの安全な場所への避難や、自宅内のより安全な場所に避難をしましょう。
③ 避難指示（緊急）	● 災害が発生するなど状況がさらに悪化し、人的被害の危険性が非常に高まった場合	● まだ避難していない人は、緊急に避難所へ避難をしましょう。 ● 外出することでかえって命に危険が及ぶような状況では、近くの安全な場所への避難や、自宅内のより安全な場所に避難をしましょう。

必ずしもこの順番で発令されるとは限らないので、ご注意ください。
 また、これらの情報が発令されていなくても、身の危険を感じる場合は避難を開始してください。
 大雨等により、避難場所までの移動が危険と思われる場合は、近くのより安全と思われる建物（最上階が浸水しない建物、川沿いでない建物等）に移動しましょう。
 外出すら危険と思われる場合は、建物内のより安全と思われる部屋（上層階の部屋、山からできるだけ離れた部屋）に移動しましょう。

もし避難情報が空振りでも「被害・災害がなければ、それで良し！」
 避難情報は人的被害を避けるために、広域に向けて早めに発令されることがあります。避難したにもかかわらず災害が発生しない場合もありますが、あらかじめ余裕を持って行動しましょう。

防災ガイド

地震発生! その時どうする



余震に注意!

崩れる危険性がある
建物には
近寄らないこと

地震発生

1~2分

3分

5分

5~10分

10分~
数時間

3日間
くらい

● 落ち着いて、自分の身を守る

津波、土砂災害の恐れがある場合はすぐに避難する。

● 非常持ち出し品を準備する
● 隣近所の安全を確認
(一人暮らしの高齢者や高齢者のみの世帯には積極的に声をかけ、安否を確認する。必要であれば避難の補助を)



● 子どもを迎えに行く
● 家を出る前に出火防止策を
(ガスの元栓を閉め、電気のブレーカーを切る)



● 生活必需品は備蓄でまかなう
(災害発生から3日程度は、外部からの応援は期待できない)
● 災害情報、被害情報の収集
(河内長野市からの広報に注意する)
● 壊れた家には入らない

避難生活では

● 自主防災組織や自治会を中心に行動する
● 集団生活のルールを守る
● 助け合いの心で



● 揺れがおさまったら、火の元を確認
(ストーブなど火がついていたら消し、ガスの元栓を閉める。火が出ていたら消火する)
● 家族の安全を確認
● 靴をはく
(ガラスの破片などから足を守る)
● ドアや窓を開けて逃げ道を確保する

● ラジオなどで情報を確認
(間違った情報や噂などにまどわれないように)
● 家屋倒壊などの恐れがあれば避難する
(ブロック塀やガラスに注意する。車は使用せず徒歩で避難する。※山間部など一部地域を除く)

● 消火・救出活動
(隣近所で協力して消火や救出活動をする。あわせて消防署等へ通報する)

緊急地震速報が出されたらあわてず、まず身の安全を確保!

最大震度5弱以上が推定される場合、テレビやラジオ、携帯電話などを通じて緊急地震速報が発表されます。これは、地震の発生直後に、震源近くで地震波をキャッチし、「もうすぐ強い揺れが始まる」ことをすばやく知らせる予報・警報のことです。

緊急地震速報を見聞きしてから強い揺れが来るまでの時間は、数秒から数十秒しかありません。その短い間に、自分の身(特に頭)を守る準備をしましょう。



! 震源に近い地域では、緊急地震速報が強い揺れに間に合わないこともあります。

家の中の安全対策

平常時から備えを地震の被害は一瞬で決まります

家具を安全に配置する

できるだけ人の出入りが少ない部屋に家具をまとめる。寝る部屋に家具を置く場合は、体の上に倒れてこないように配置する。



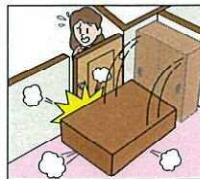
家具の転倒や落下を防止する措置をとる

家具と壁や柱の間に空間をつくらない。またL字型金具や重ね留め用金具、家具の転倒防止シートなどを利用して転倒や落下を防ぐ。



通路や出入り口に荷物を置かない

いざというときの避難路を確保するために、通路や出入り口にはできるだけ荷物を置かないようにする。



窓ガラスに飛散防止フィルムをはる

窓はもちろん、食器棚や額縁などに使われているガラスにも忘れずに飛散防止フィルムをはる。



地震時の初期消火のタイミング

地震火災を防止するために

地震の二次災害でもっとも恐ろしい火災。地震時の初期消火のタイミングを頭に入れておき、あわてず確実に火の始末をしましょう。

1 グラツときたとき

揺れはじめの瞬間に火を消す。ただし、最近では地震時に自動的にガスの供給が停止されるガスマイコンメーター(震度5以上の地震が発生した場合に振動を感知して自動的にガスをストップさせる機能付)の設置が進んでいるため、やけどなどの危険を冒してまで火を消す必要はありません。



2 大揺れがおさまったとき

まずはテーブルの下などで身を守り、大きな揺れがおさまってから、火を消します。



3 燃えはじめたとき

万一出火したら、すばやく備え付けの消火器などで消火します。天井まで火が回ってしまったらすみやかに避難します。



防災ガイド

自主防災組織に参加しよう

平常時の活動

● 地域内の防災環境の確認

災害発生時に、地域内に被害の拡大につながる原因がないか、また一人暮らしの高齢者世帯など援助を必要としている人がいないかなどを確認する。



● 防災訓練の実施

災害を想定して訓練を行い、消火器の使用法や応急手当など、防災活動に必要な知識や技術を習得する。



● 防災知識の普及

防災マップや防災講演会、防災イベントなどを通して、住民一人ひとりが防災に関心をもち、準備するよう取り組む。



● 防災資機材の整備

災害発生時に必要とされる資機材を、地域の実情に応じて準備しておく。また、定期的に点検や使い方を確認する。



災害時の活動

- 安否確認
- 初期消火
- 避難誘導
- 救出・救助

負傷者の救出、救護所への搬送など。



● 情報の収集・伝達

災害に関する正しい情報の収集とその伝達を行う。



● 避難所の管理・運営

水や食料などの配分、炊き出しなどの給食・給水活動。

大災害が発生したとき、交通網の寸断などにより、消防や警察などの公共機関が十分に対応できない可能性もあります。そんなときに力を発揮するのが「自主防災組織」です。

自主防災組織とは、地域の人たちが自発的に防災活動を行う組織です。「自分たちのまちは自分たちで守る」という心がまえで、積極的に自主防災組織の活動に参加し、災害に強いまちをつくりましょう。



河内長野市の自主防災組織に対する助成

育成事業助成

自主防災組織が防災資機材などを購入した際に、その購入金額の2分の1を市が補助します。ただし、組織構成世帯数が40世帯未満の場合は3万円、40世帯以上の場合は1世帯当たり750円を助成額の限度とします。

防災資機材等とは別に防災倉庫についても、事業費の2分の1を市が補助します。ただし、1m当たり2万円を限度とします。

活動推進事業助成

自主防災組織が防災訓練や研修等の防災活動を行った際に、世帯当たり100円を乗じた額の範囲内で、当該運用費用の2分の1を市が補助します。ただし、10万円を限度とします。

※詳しくは危機管理課 53-1111(代表)まで

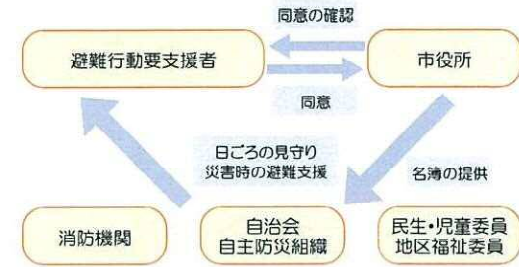
避難行動要支援者を災害から守ろう

災害時における避難行動要支援者制度について

災害が起きた時、避難に何らかの手助け(援護)を必要とする在宅の高齢者や障がいのある人などに対して、市の関係部局や自治会、自主防災組織、民生・児童委員、地区福祉委員などが協働して支援していくものです。

市が保有する情報をもとに、避難行動要支援者名簿を作成し、避難行動要支援者本人からの同意を得た人は、平常時から自治会等に名簿を提供していきます。

※避難行動要支援者とは、これまでは災害時要援護者と呼んでいましたが、災害対策基本法において新たに定義づけられた用語です。



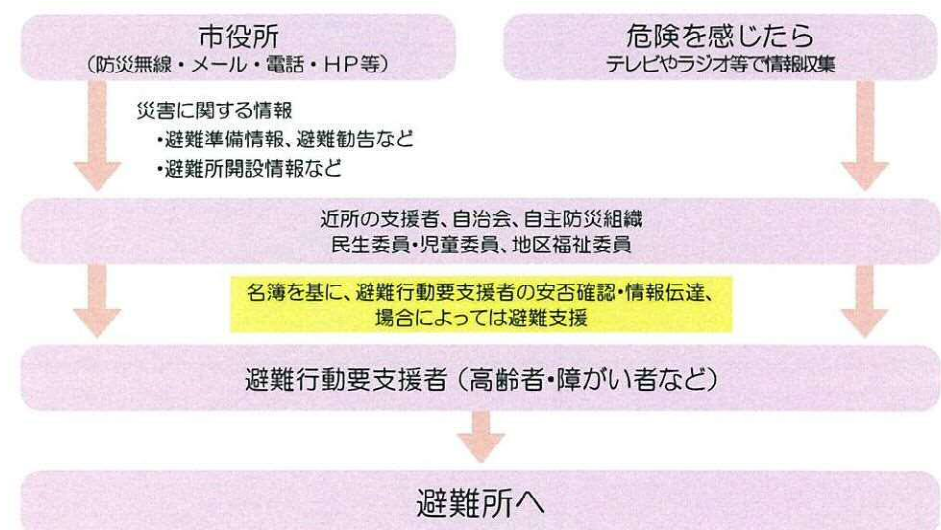
●詳しくは、危機管理課・介護保険課・障がい福祉課にお問い合わせください。

本制度の対象者の範囲 生活の基盤が自宅にある人のうち、以下の要件に該当する人

- ①要介護認定を受けている人(要支援1~2、要介護1~5)
- ②身体障がい者手帳1・2級の身体障がい者
- ③療育手帳Aを所持する知的障がい者
- ④精神障害者保健福祉手帳1級を所持する人
- ⑤障害者総合支援法による障害福祉サービス等を受ける難病患者
- ⑥高齢者(75歳以上)のみの世帯の人
- ⑦上記以外で市長が支援の必要と認めたる人
(例/家族と同居しているが昼間は1人になる高齢者、妊娠婦、乳幼児、日本語の理解が十分でない外国人など)

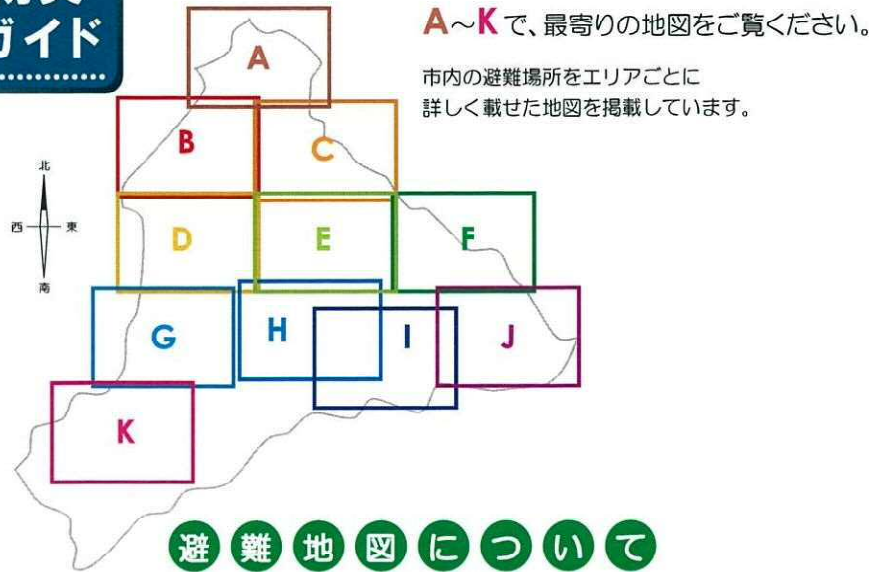
●要件に漏れる人でも、自ら名簿の掲載を希望される場合はお申し出ください。

災害が発生しそうな時(台風など)・いざ災害が発生した時



防災ガイド

自宅エリアの避難場所を確認



避難地図について

A~Kの地図は、大阪府による土砂災害危険箇所調査結果、洪水リスク表示図などを基に、避難所情報や防災関係機関等をまとめたものです。

危険を感じた時には早めに自主的に避難場所への移動を心がけ、市からの避難勧告や避難指示が出された時にはすみやかに避難してください。

なお、洪水予測に用いた条件は次に示す通りです。地図に示した「浸水の範囲」以外の場合でも、状況によっては浸水することがあるので、注意しましょう。

● 降雨条件:200年に1回の確率雨量	(石川/1時間当たり最大63.3mm、24時間当たり217.3mm) 西條川/1時間当たり最大83.0mm、24時間当たり256.7mm)
---------------------	--

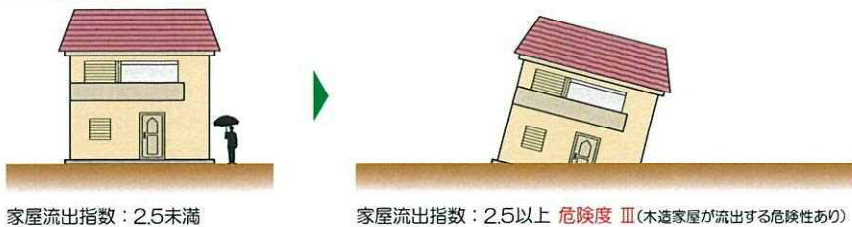
表：危険度の評価

危険度Ⅰ	想定浸水深が床下浸水程度である0.5m未満の箇所
危険度Ⅱ	想定浸水深が床上浸水程度である0.5m以上~3.0m未満の箇所
危険度Ⅲ	想定浸水深が建物の1階相当が水没すると思われる3m以上、または木造家屋が流出するとされる家屋流出指数が2.5 ³ /s ² 以上の箇所

想定浸水区分



家屋流出指数



避難所施設一覧

地図番号	施設名	所在地	電話番号
C	長野中学校	本多町3-1	53-2266
C	東中学校	日東町26-1	62-2430
A	千代田中学校	市町1367-1	54-6000
B	西中学校	下里町257-3	52-2702
E	加賀田中学校	石仏570	68-8778
B	南花台中学校	南花台6-6-1	62-2777
E	美加の台中学校	美加の台7-2-1	63-7878
A	千代田小学校	木戸町649	53-1371
C	長野小学校	西代町14-1	52-6044
B	小山田小学校	小山田町590-1	53-2527
B	天野小学校	下里町365	52-2528
B	高向小学校	高向86	52-2129
C	三日市小学校	上田町380	62-2429
E	加賀田小学校	加賀田568-1	62-2916
H・I	天見小学校	天見2370-1	68-8004
A	楠小学校	楠町東1011	53-8371
E	石仏小学校	石仏662	68-8766
D	南花台小学校	南花台2-11-1	63-2511
C	川上小学校	清見台4-18-1	62-5353
E	美加の台小学校	美加の台3-25-1	62-2468
D	錦秀会看護専門学校	南花台4-24-1	21-9015
C	三日市幼稚園	上田町200-1	62-2929
A	汐の宮保育園	汐の宮町8-39	52-3437
C	川上公民館	寺元501	65-1612
E	加賀田公民館	加賀田617-4	62-2116
B	高向公民館	高向515-3	54-4548
A	千代田公民館	木戸西町1-2-9	55-1125
E	天見公民館	岩瀬1244	63-4074
B	天野公民館	天野町1520-5	55-6191
C	南花台公民館	南花台8-4-1	63-1131
C	市民総合体育館	大師町25-1	65-0121
C	福祉センター	大師町26-1	65-0123
C	保健センター	菊水町2-13	55-0301
G	ふるさと文化財の森センター	滝畑483-3	63-0201
C	ノパーティホール	長野町5-1-303	56-2360
C	ラプリーホール	西代町12-46	56-6100
B	あやたホール	小山田町1824-4	54-0773
B	キックス	昭栄町7-1	54-0001
D	みのでホール	日野980	50-1203
C	くすのかホール	清見台4-18-2	62-7799
C	フォレスト三日市(三日市市民ホール)	三日市町32-1	62-1313

救急指定病院一覧

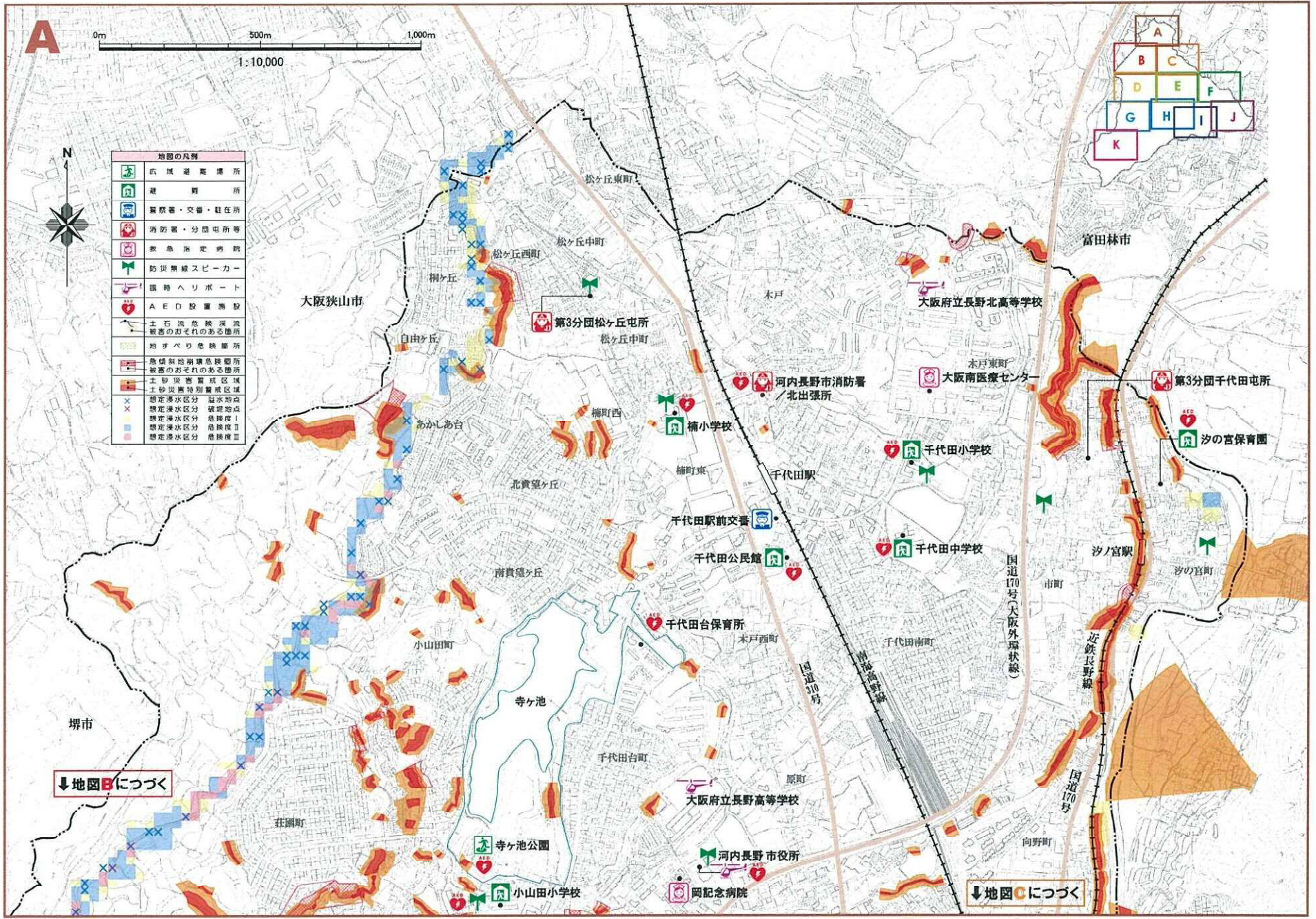
地図番号	施設名	電話番号
A	大阪南医療センター 木戸東町2-1 53-5761 (昼) 53-5764 (18:00~)	
A・C	岡記念病院 西之山町11-18 55-1221	
C	寺元記念病院 古野町4-11 50-1111	

広域避難場所

地図番号	施設名	電話番号
A	寺ヶ池公園 小山田町674-5 56-2111	

地図の凡例	
	広域避難場所
	避難所
	警察署・交番・駐在所
	消防署・分団 屯所等
	救急指定病院
	防災無線スピーカー
	臨時ヘリポート
	土石流危険渓流 被害のおそれのある箇所
	地すべり危険箇所
	急傾斜地崩壊危険箇所 被害のおそれのある箇所
	土砂災害警戒区域
	土砂災害特別警戒区域

A~Kの地図は大阪府による土砂災害危険箇所調査結果、洪水リスク表示図などを基に、防災に関する情報をまとめたものです。



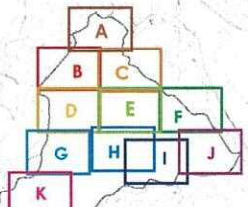
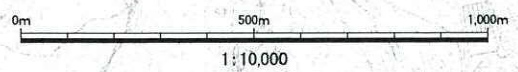
地図の凡例

	広域避難場所
	避難所
	乗換所・交番・駐在所
	消防署・分団屯所等
	救急指定病院
	防災無線スピーカー
	医療ヘリポート
	AED設置施設
	土石流危険渓流 被害のおそれのある箇所
	地すべり危険箇所
	急傾斜地崩壊危険箇所 被害のおそれのある箇所
	土砂災害警戒区域 土砂災害特別警戒区域
	想定浸水区分 洪水時高
	想定浸水区分 浸没地点
	想定浸水区分 危険度Ⅰ
	想定浸水区分 危険度Ⅱ

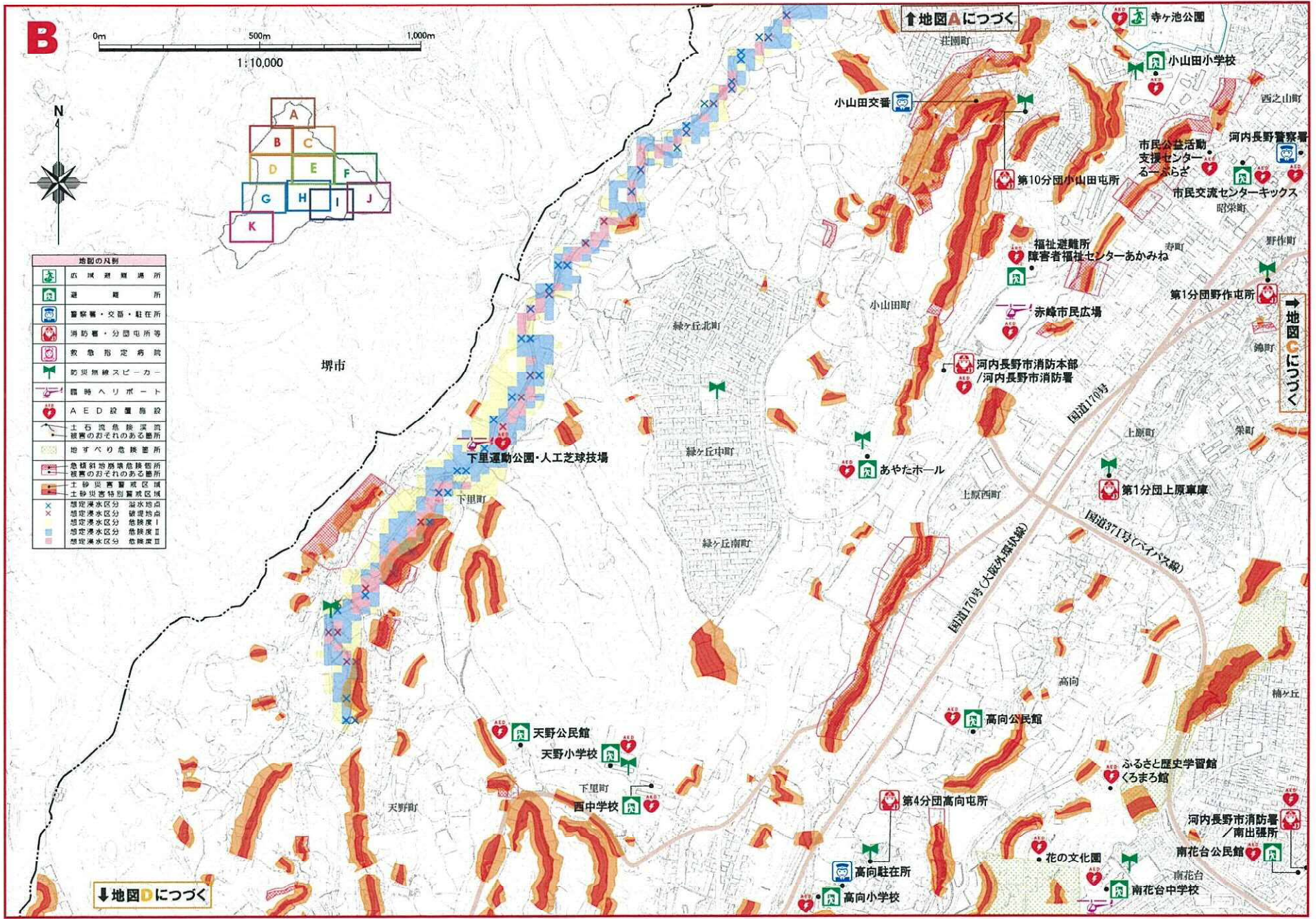
↓地図Bにつづく

↓地図Cにつづく

B



地図の凡例	
	広域避難場所
	避難所
	警察署・交番・駐在所
	消防署・分屯所等
	救急指定病院
	防災無線スピーカー
	臨時ヘルポート
	AED設置施設
	土石災害危険深淵 被害のおそれのある箇所
	地すべり危険箇所
	急傾斜地崩壊危険箇所 被害のおそれのある箇所
	土砂災害特別警戒区域
	想定浸水区分 浸水始点
	想定浸水区分 浸水始点
	想定浸水区分 危険度Ⅰ
	想定浸水区分 危険度Ⅱ
	想定浸水区分 危険度Ⅲ



↑地図Aにつづく

↓地図Dにつづく

↓地図Dにつづく

堺市

下里運動公園・人工芝球技場

下里町

天野町

天野公民館
天野小学校

下里町
西中学校

緑ヶ丘南町

緑ヶ丘中町

緑ヶ丘北町

小山田町

小山田交番

上原西町

上原町

赤峰市民広場

河内長野市消防本部
河内長野市消防署

福祉避難所
障害者福祉センターあかみね

市民公益活動
支援センター
ふるさとのまはらぎ

市民交流センターキックス
昭栄町

小山田小学校

西之山町

第1分団野作屯所

野作町

錦町

栄町

第1分団上原車庫

高向

高向公民館

第4分団高向屯所

高向駐在所
高向小学校

ふるさと歴史学習館
くろまる館

花の文化園

河内長野市消防署
南出張所

南花台公民館

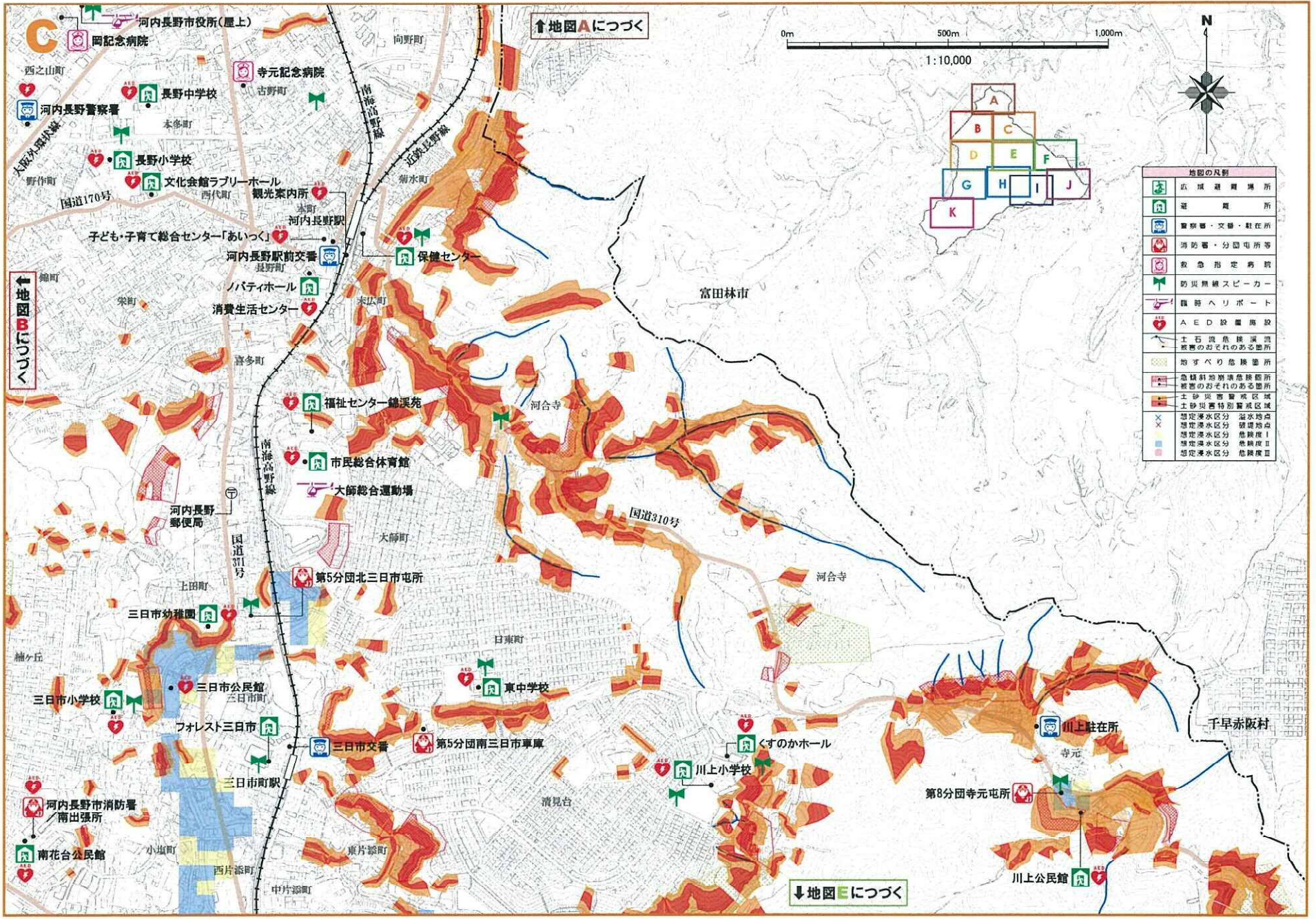
南花台
南花台小学校

南花台

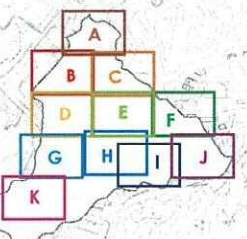
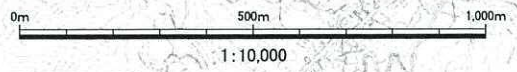
楠ヶ丘

国道170号(大阪環状線)

国道317号(バイパス線)



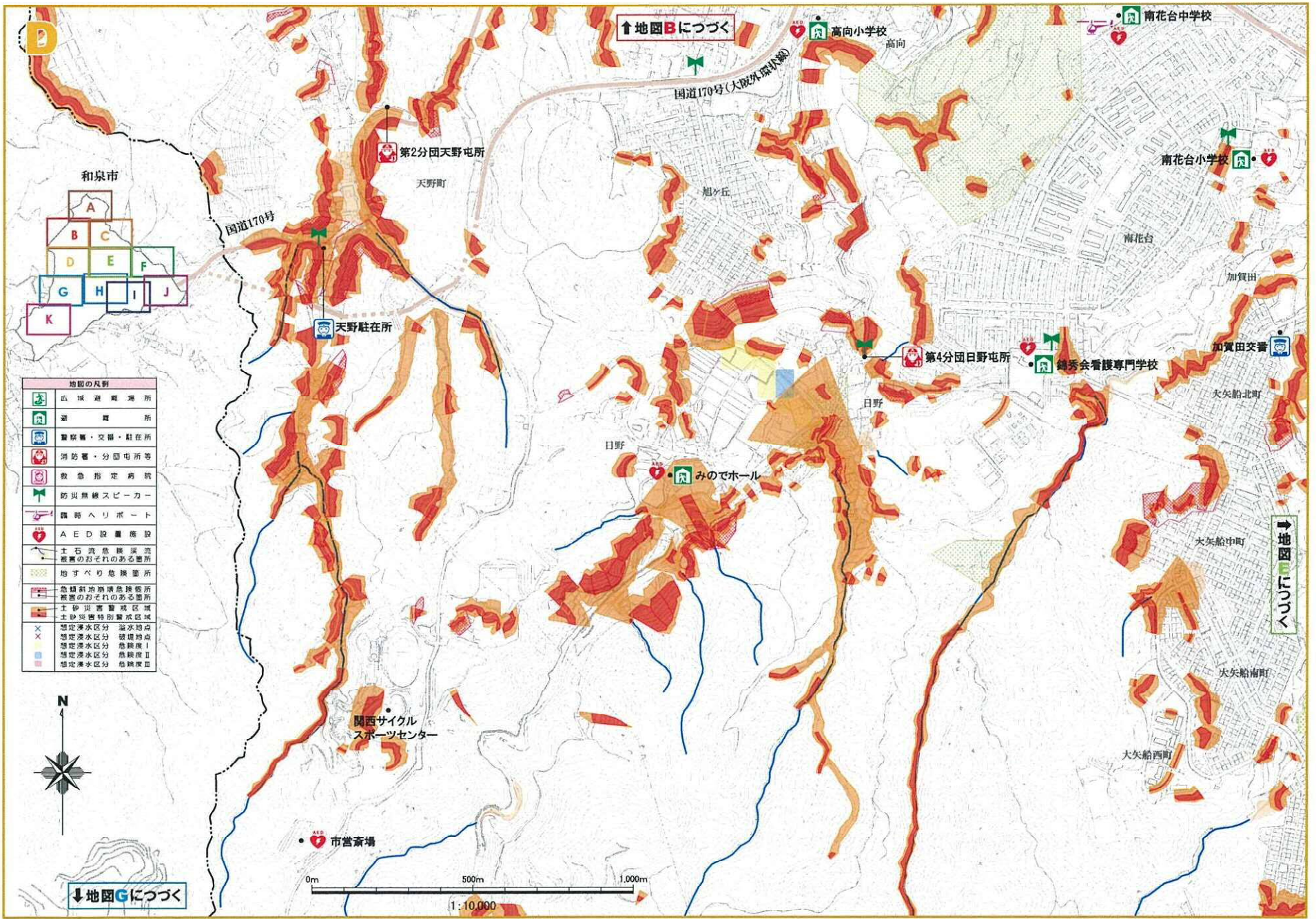
↑地図Aにつづく



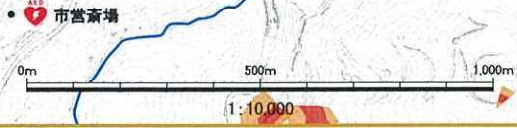
地図の凡例	
	広域避難場所
	避難場所
	警察署・交番・駐在所
	消防署・分団屯所等
	救急指定病院
	防災無線スピーカー
	職務ヘリポート
	AED設置施設
	土石流危険渓流沿道被害のおそれのある箇所
	地すべり危険箇所
	急傾斜地崩壊危険箇所被害のおそれのある箇所
	土砂災害警戒区域
	土砂災害特別警戒区域
	想定浸水区分 溢水地高
	想定浸水区分 破壊地高
	想定浸水区分 危険度Ⅰ
	想定浸水区分 危険度Ⅱ
	想定浸水区分 危険度Ⅲ

↑地図Dにつづく

↓地図Eにつづく



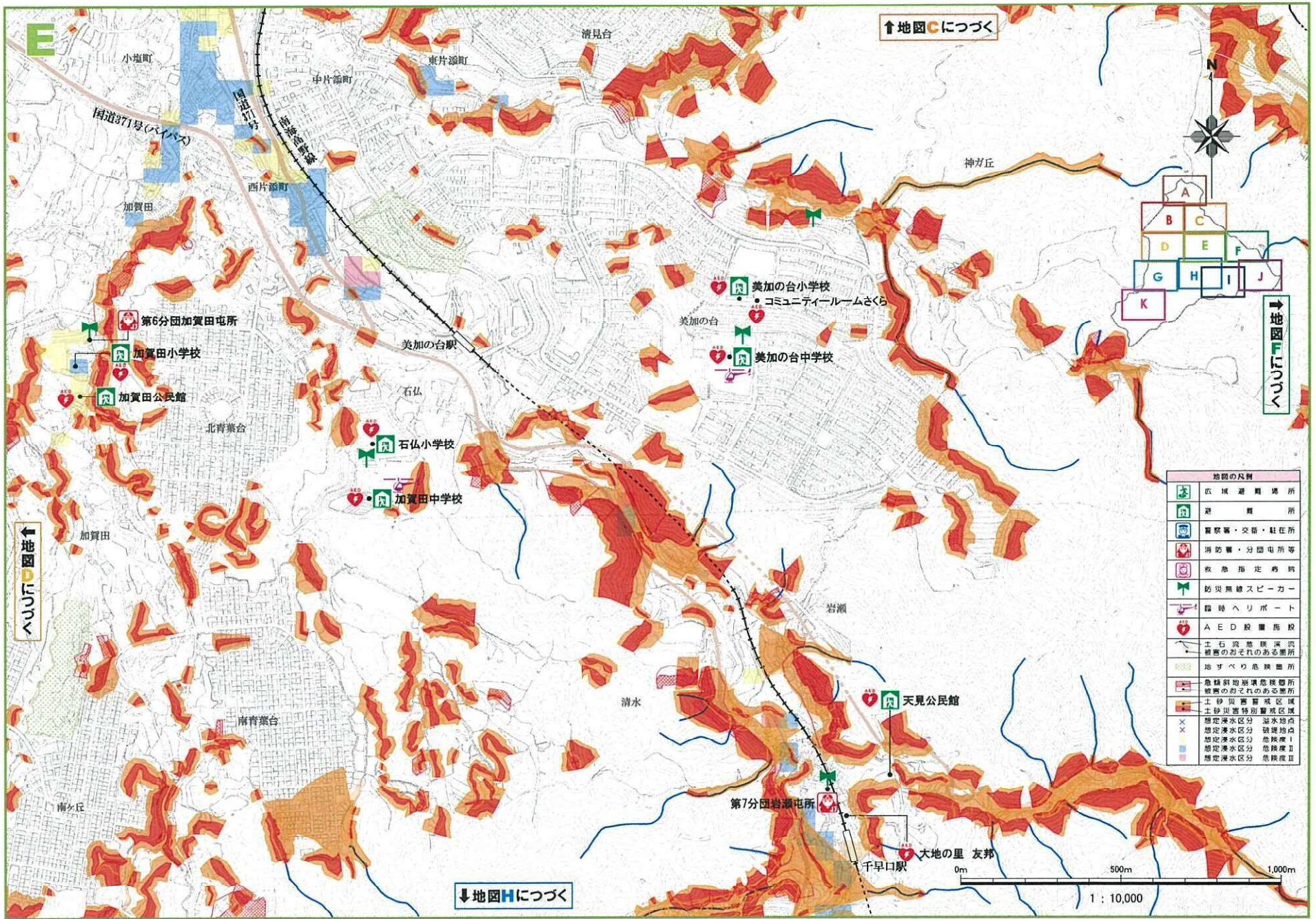
施設の凡例	
	広域避難場所
	避難所
	警察署・交番・駐在所
	消防署・分団屯所等
	救急指定病院
	防災無線スピーカー
	救急ヘリポート
	AED設置施設
	土石流危険渓流 被害のおそれのある箇所
	地すべり危険箇所
	急傾斜地崩壊危険箇所 被害のおそれのある箇所
	土石流災害警戒区域
	土石流警特別警戒区域
	想定浸水区分 溢水地点
	想定浸水区分 破壊地点
	想定浸水区分 危険度Ⅰ
	想定浸水区分 危険度Ⅱ
	想定浸水区分 危険度Ⅲ



↓地図Gにつづく

↑地図Bにつづく

↑地図Jにつづく



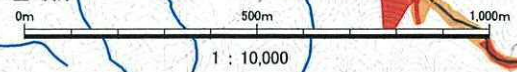
↑地図Cにつづく

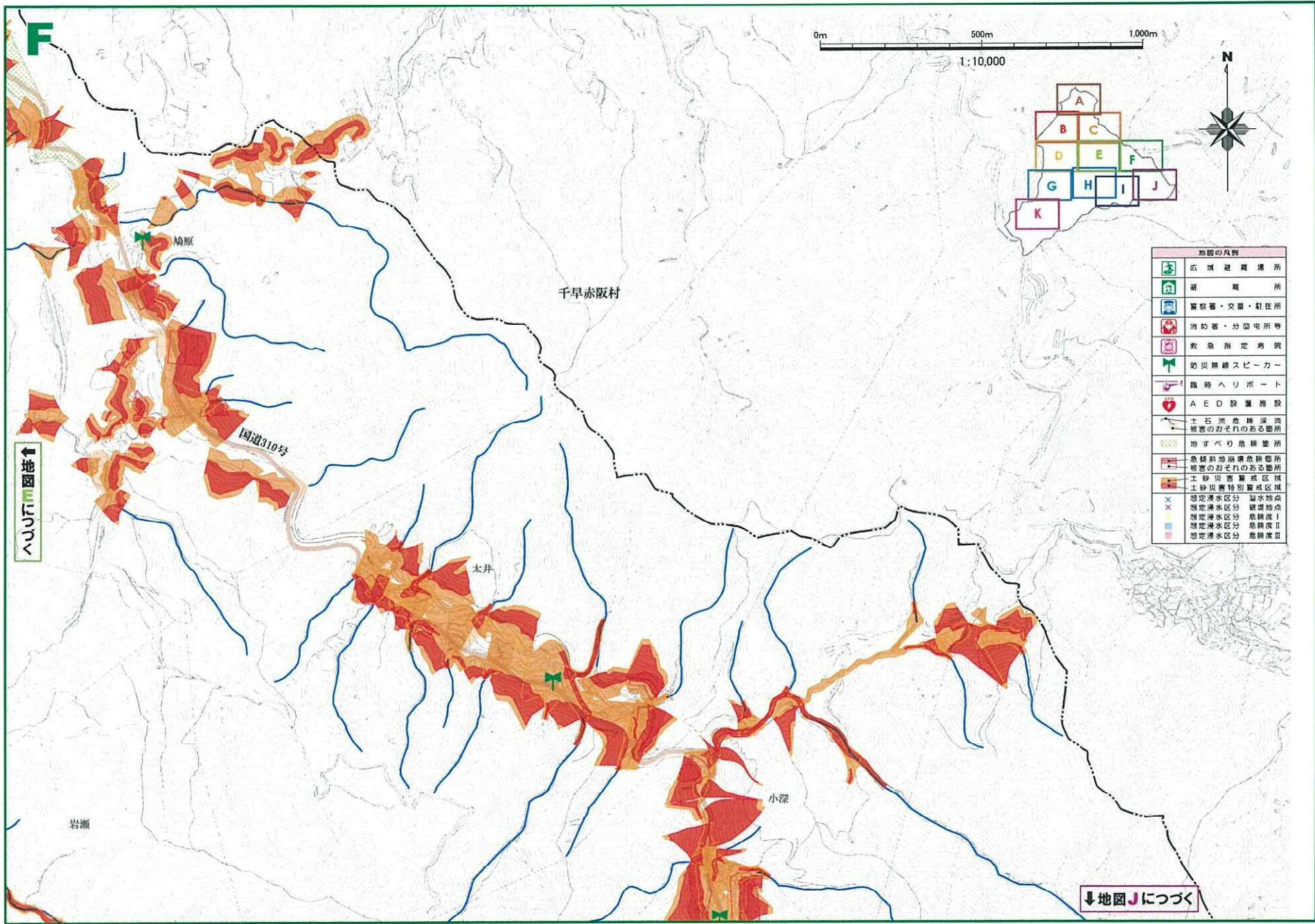
↑地図Eにつづく

↑地図Jにつづく

↓地図Hにつづく

地図の凡例	
	広域避難場所
	遊園地
	警察署・交番・駐在所
	消防署・分団屯所等
	救急指定病院
	防災無線スピーカー
	臨時ヘリポート
	AED設置施設
	土石流危険渓流・洪水被害のおそれのある箇所
	地すべり危険箇所
	急傾斜地崩壊危険箇所被害のおそれのある箇所
	土砂災害警戒区域・土砂災害特別警戒区域
	想定浸水区分 溢水地点
	想定浸水区分 浸水地点
	想定浸水区分 危険度Ⅰ
	想定浸水区分 危険度Ⅱ
	想定浸水区分 危険度Ⅲ





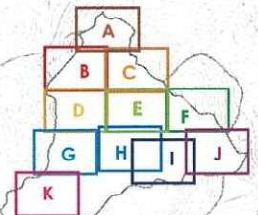
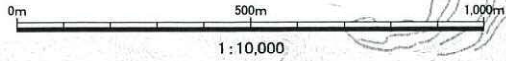
地図の凡例	
	広域避難場所
	避難場所
	警察署・交番・駐在所
	消防署・分団屯所等
	救急指定病院
	防災無線スピーカー
	臨時ヘリポート
	AED設置施設
	土石災害危険箇所被害のおそれのある箇所
	土石災害危険箇所
	土石災害特別警戒区域
	想定浸水区分 浸水地点
	想定浸水区分 危険度Ⅰ
	想定浸水区分 危険度Ⅱ
	想定浸水区分 危険度Ⅲ

へいじん圏指↑

↓地図Jにつづく

G

↑地図Dにつづく



地図の凡例	
	広域避難場所
	避難所
	警察署・交番・駐在所
	消防署・分団屯所等
	救急指定病院
	防災無線スピーカー
	臨時ヘリポート
	AED設置施設
	土石流危険渓流 被害のおそれのある箇所
	地すべり危険箇所
	急傾斜地崩壊危険箇所 被害のおそれのある箇所
	土石災害警戒区域
	土石災害特別警戒区域
	想定浸水区分 溢水地点
	想定浸水区分 浸水地点
	想定浸水区分 危険度Ⅰ
	想定浸水区分 危険度Ⅱ
	想定浸水区分 危険度Ⅲ

和泉市

滝畑ダム

滝畑

滝畑ふるさと文化財の森センター

滝畑駐在所

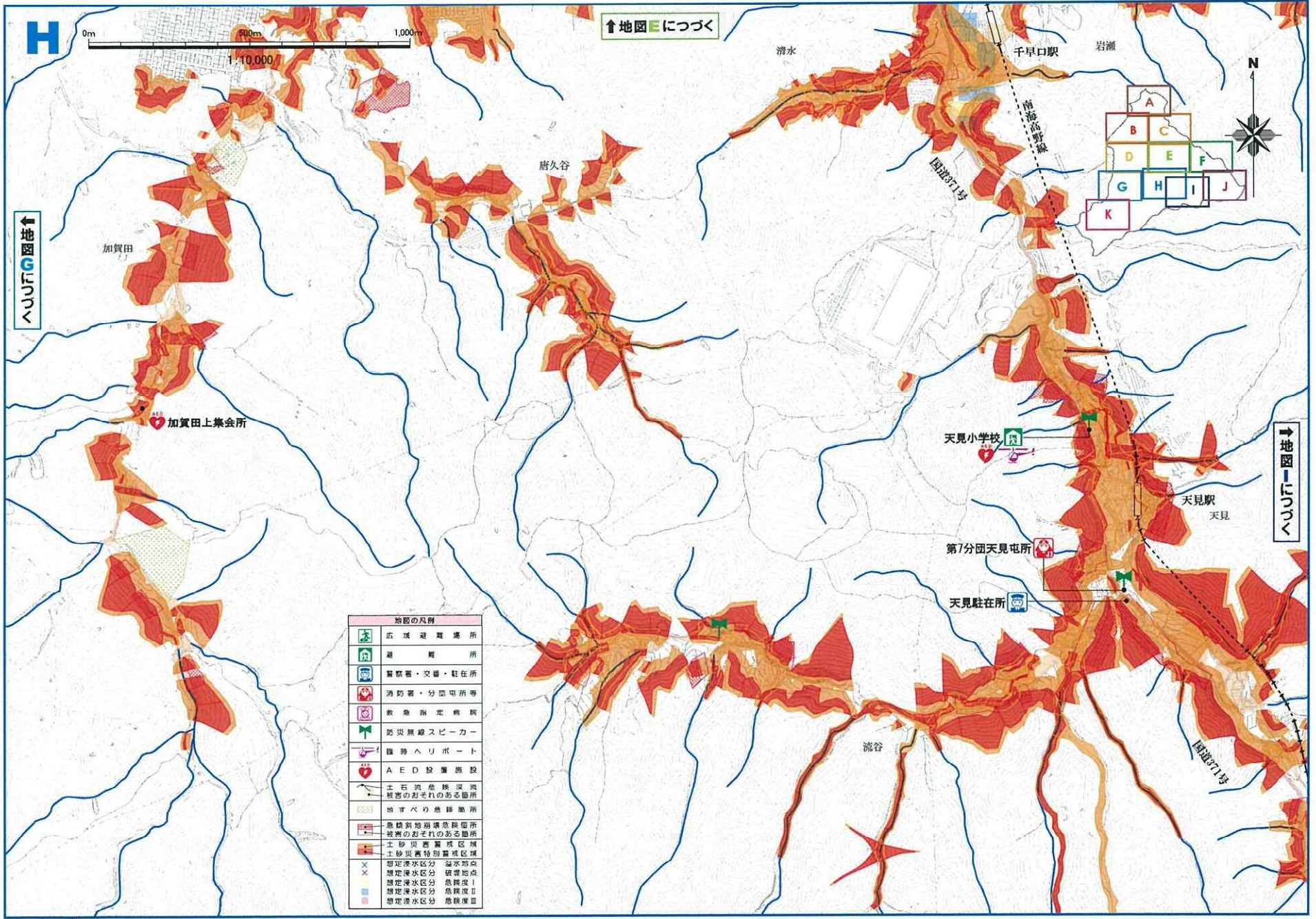
第9分団滝畑屯所

滝畑ふるさと文化財の森センター
多目的広場

南河内環境事業組合
第2清掃工場

↑地図Eにつづく

↓地図Kにつづく

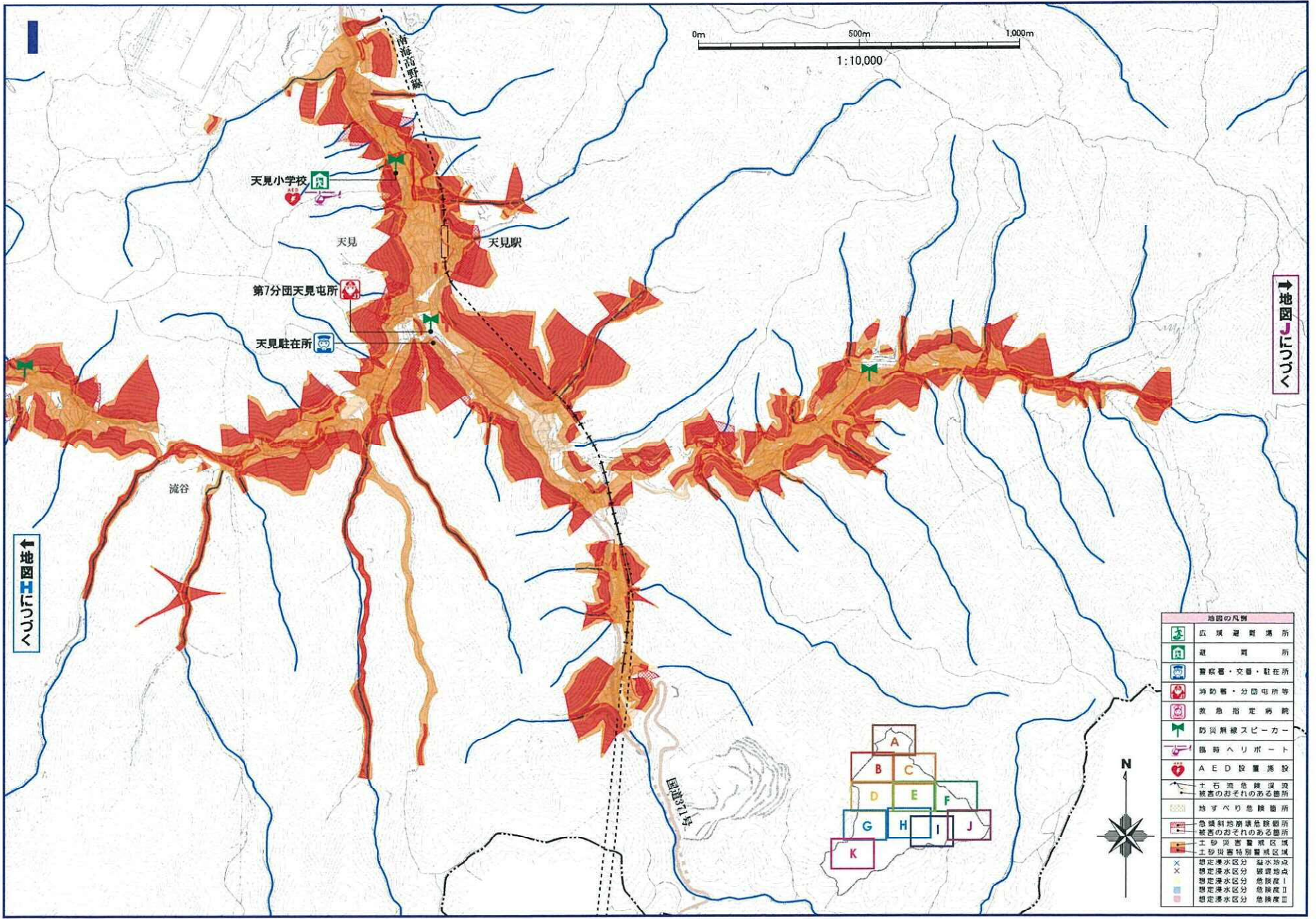


↑地図Eにつづく

↑地図Gにつづく

↓地図Iにつづく

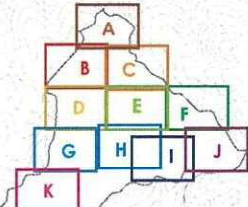
地図の凡例	
	広域避難場所
	避難所
	警察署・交番・駐在所
	消防署・分団屯所等
	救急指定病院
	防災無線スピーカー
	臨時ヘリポート
	AED設置施設
	土石流危険渓流 被害のおそれのある箇所
	地すべり危険箇所
	急傾斜地崩壊危険箇所 被害のおそれのある箇所
	土石災害警戒区域 土石災害特別警戒区域
	想定浸水区分 溢水地点
	想定浸水区分 破壊地点
	想定浸水区分 危険度Ⅰ
	想定浸水区分 危険度Ⅱ
	想定浸水区分 危険度Ⅲ

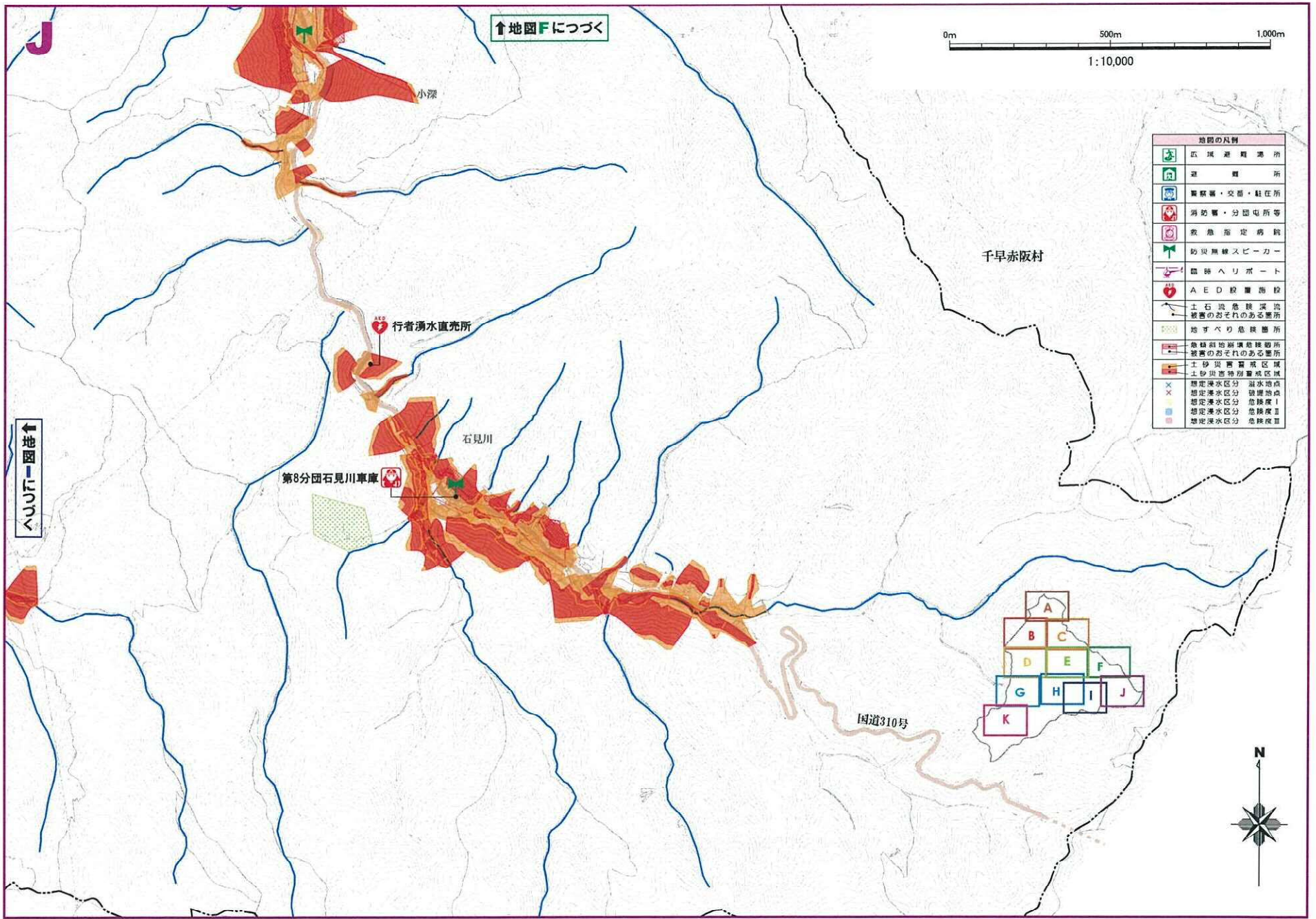


ハル工区↑

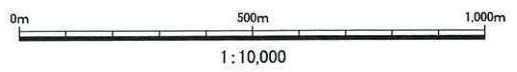
↑地図

地図の凡例	
	広域避難場所
	避難所
	警察署・交番・駐在所
	消防署・分団屯所等
	救急指定病院
	防災無線スピーカー
	臨時ヘリポート
	AED設置箇所
	土石災害降流域被害のおそれのある箇所
	地すべり危険箇所
	急傾斜地崩壊危険箇所被害のおそれのある箇所
	土砂災害警戒区域土砂災害特別警戒区域
	想定浸水区分 融水地点
	想定浸水区分 崩壊地点
	想定浸水区分 危険度Ⅰ
	想定浸水区分 危険度Ⅱ
	想定浸水区分 危険度Ⅲ





↑地図Fにつづく



地図の凡例	
	区域避難場所
	避難所
	警察署・交番・駐在所
	消防署・分団駐所等
	救急指定病院
	防災無線スピーカー
	離陸ヘリポート
	AED設置施設
	土石流危険渓流 被害のおそれのある箇所
	地すべり危険箇所
	危険な斜面崩落箇所 被害のおそれのある箇所
	土砂災害警戒区域 土砂災害特別警戒区域
	想定浸水区分 洪水増高
	想定浸水区分 浸水増高
	想定浸水区分 浸水増高 浸水増高
	想定浸水区分 浸水増高 浸水増高
	想定浸水区分 浸水増高 浸水増高
	想定浸水区分 浸水増高 浸水増高
	想定浸水区分 浸水増高 浸水増高

千早赤阪村

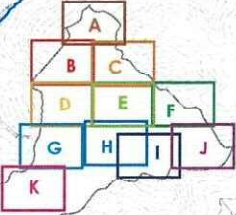
石見川

第8分団石見川車庫

行者湧水直売所

小深

国道310号



↑地図Fにつづく

K

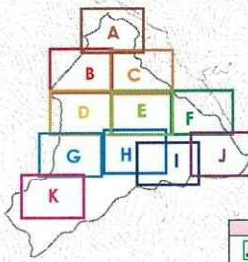
↑地図Gにつづく

滝畑ダム

滝畑

和泉市

滝畑湖畔観光農林組合



地図の凡例	
	広域避難場所
	遊 覧 所
	警察署・交番・駐在所
	消防署・分団屯所等
	救急指定病院
	防災無線スピーカー
	臨時ヘリポート
	AED設置施設
	土石流危険渓流 被害のおそれのある箇所
	踏すべり危険箇所
	急傾斜地崩壊危険箇所 -経営のおそれのある箇所
	土砂災害警戒区域 土砂災害特別警戒区域
	想定浸水区分 溢水地点
	想定浸水区分 埋没地点
	想定浸水区分 危険度Ⅰ
	想定浸水区分 危険度Ⅱ

